



アフリカゾウ

ゾウさんといえは

「体が大きい、鼻が長い、よく食べる、うんちが大きい」などのイメージがあると思いますが、「鼻」をよく見て下さい。

しくみ

上唇と鼻がいっしょに伸びたもので、骨はなく、全て筋肉でできています。鼻の穴は2つあります。

すごく器用

舌の先だけを見ても、上下に突起があり、どんなに小さい物(大豆など)でもつまむことができます。大きい物(スイカ)は、鼻全体でまるめ込むようにしてつかむことができます。力も強く、250kgくらいの重さの物を持ち上げることができると言われています。



※ アジアゾウは「上」だけに突起があるよ。

どんな時に使うの？

食べる、水を飲む、遊び、全てで使います。自然では、水のありかを探したり、危険を察知できるくらい嗅覚(犬の25倍)がすぐれています。



※ みなさんもゾウの鼻のすごさを見つけてみてください。

アフリカゾウとアジアゾウのちがい




体重 5,500kg ~ 7,500kg

4,000kg ~ 5,000kg

耳の形 三角形 

四角形 

鼻先の形 上下に2つの突起 

上に1つの突起 

× 食べかす

- ① 耳は、人間には聞こえないくらいの低い音でゾウ同士で会話ができるよ。
- ② 鼻は、全て筋肉でできていて骨はないよ。鼻先を器用に使って餌を食べるんだ。

ゾウさんのお部屋のそうじはたいへんだあ〜

おそうじの工程 室内編



放飼場編



元気に過ごしている2頭のゾウさん。毎日たくさん食べ、たくさん遊び、大量のウンチやおしこをします。それは、お部屋でも外でも出します。それをきれいにするのが、飼育担当の大切な仕事。分かってはいるけど重労働。時には腰を痛めることも。

しかし、お部屋と外を毎日そうじ清潔にしないと、病気の原因になります。

もう一つ大切なのは、使った道具はすぐに水洗いし、清潔にします。また使うからと汚れたままにしておくと、悪さをする菌が大発生し、動物の体をいじめます。だから道具は、使うたびにきれいにしておきます。

飼育のお仕事は、きめ細かな心がけも大切なんです。

その他編

他にも暑いときは、水浴びするので、プールの水を1週間に1回きれいに交換します。

アフリカゾウ

重労働とは

♀タリス母の場合(早花子は少ない)

乾燥草 70kgほど
(夏場は青草も与える)

稲ワラ 5kgほど

リンゴ・ニンジン・パン 計6kg

草食獣用固型飼料 5kgほど
(餌やり係専用)

※園内で伐採した樹木や他の動物が残した餌などを与えることもある。

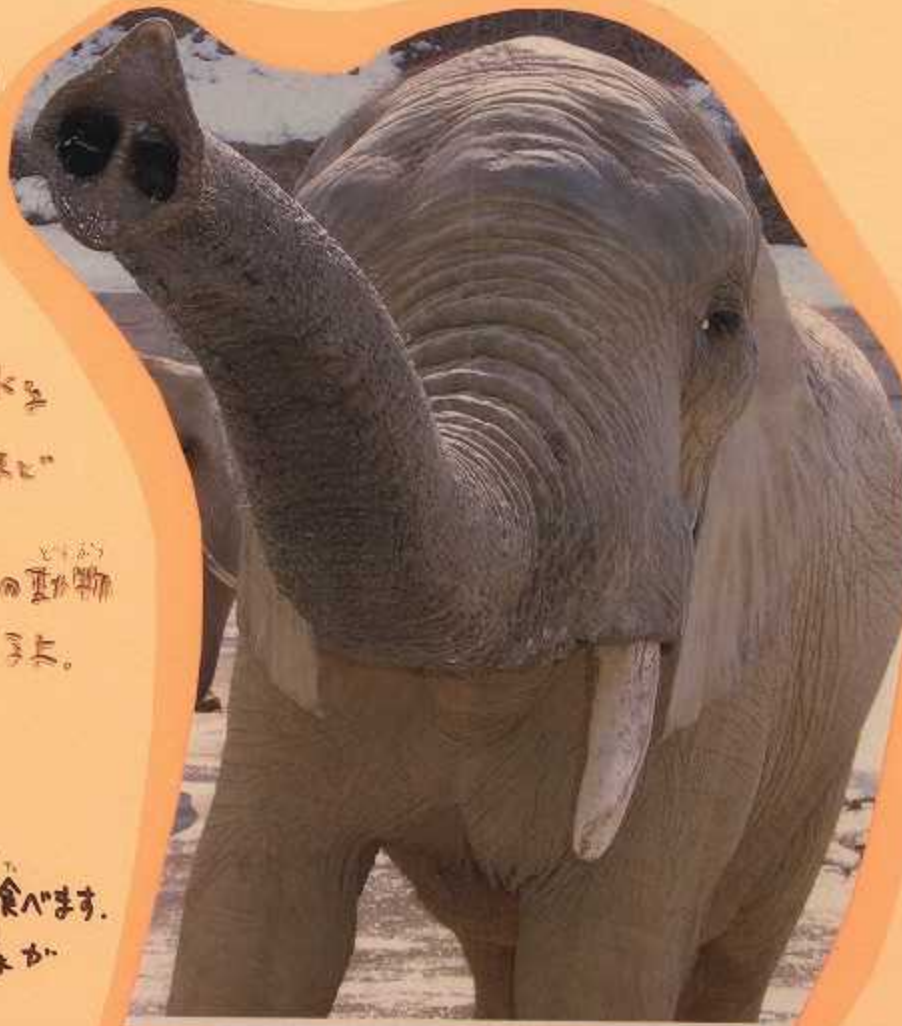
野生では

1日の大半を食事にかけています。

大人のゾウで300kgの草や木を食べます。

大きな樹木を倒して食べたため森が破壊されます。

水も1日に100L以上飲みます。



ゾウは森の植木屋

ゾウは樹木を食べ、森を破壊しますが、ゾウのフンには、樹木の種子が多く含まれるため、長距離を移動し、フンをすることで新たな場所に森が生まれ、いわば、ゾウは森の植木屋です。

森を破壊しないとダメなの？

ゾウが森を破壊しないと地上に日光が当たり、植物が育たないため古い樹木が枯れる一方で、新しい森がなくなるといえます。森を破壊できるほどの大きな動物は、ゾウだけ。ゾウがいなくなると、砂漠化が進むといわれています。

アフリカゾウの繁殖

野生では、大人のメスがリーダーとなり20頭くらいの群れで生活しています。オスは、15歳を過ぎる頃から一頭で生活するようになります。

繁殖期になると、群れ生活するメスを求めオス同士の戦いが始まり、勝った方がメスと交尾し、妊娠すると約2年後に100kgくらいの赤ちゃんが生まれます。負けたオスは、別のメス群れを探します。



※2枚の写真

右：オス・たいすけ

左：メス・リリー

メスは、生命力の強い子孫を残すため、より力の強いオスを求めます。また、一頭のメスが生涯で赤ちゃんを産むことができるのは、5頭ほどと言われています。メスは、赤ちゃんを約3年母乳で育てます。その後は、常に一緒に行動し、餌の採り方や水の飲み方、浮ぎ方などを少しずつ教えていきます。そして、15年ほどで一人前のゾウとなります。

